

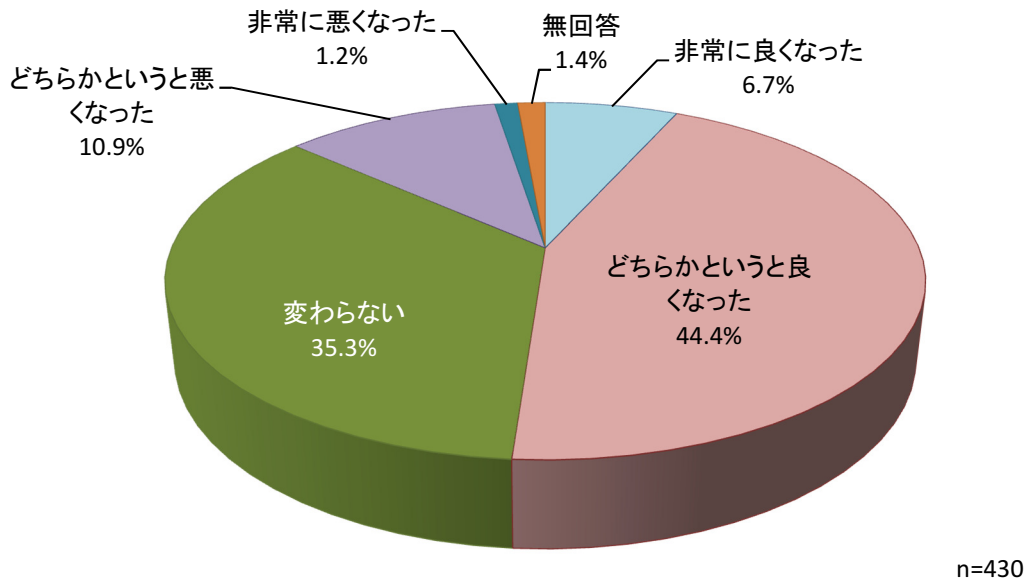
3. 宇都宮市の景観について

(1) 宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるか

◇ 「非常に良くなった」と「どちらかというと言良くなった」を合わせた【良くなった(計)】が約5割

問15	宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じますか。	(○は1つ)
		n=430
1	非常に良くなった	6.7%
2	どちらかというと言良くなった	44.4%
3	変わらない	35.3%
4	どちらかというと言悪くなった	10.9%
5	非常に悪くなった	1.2%
	(無回答)	1.4%

<図IV-3-1>全体



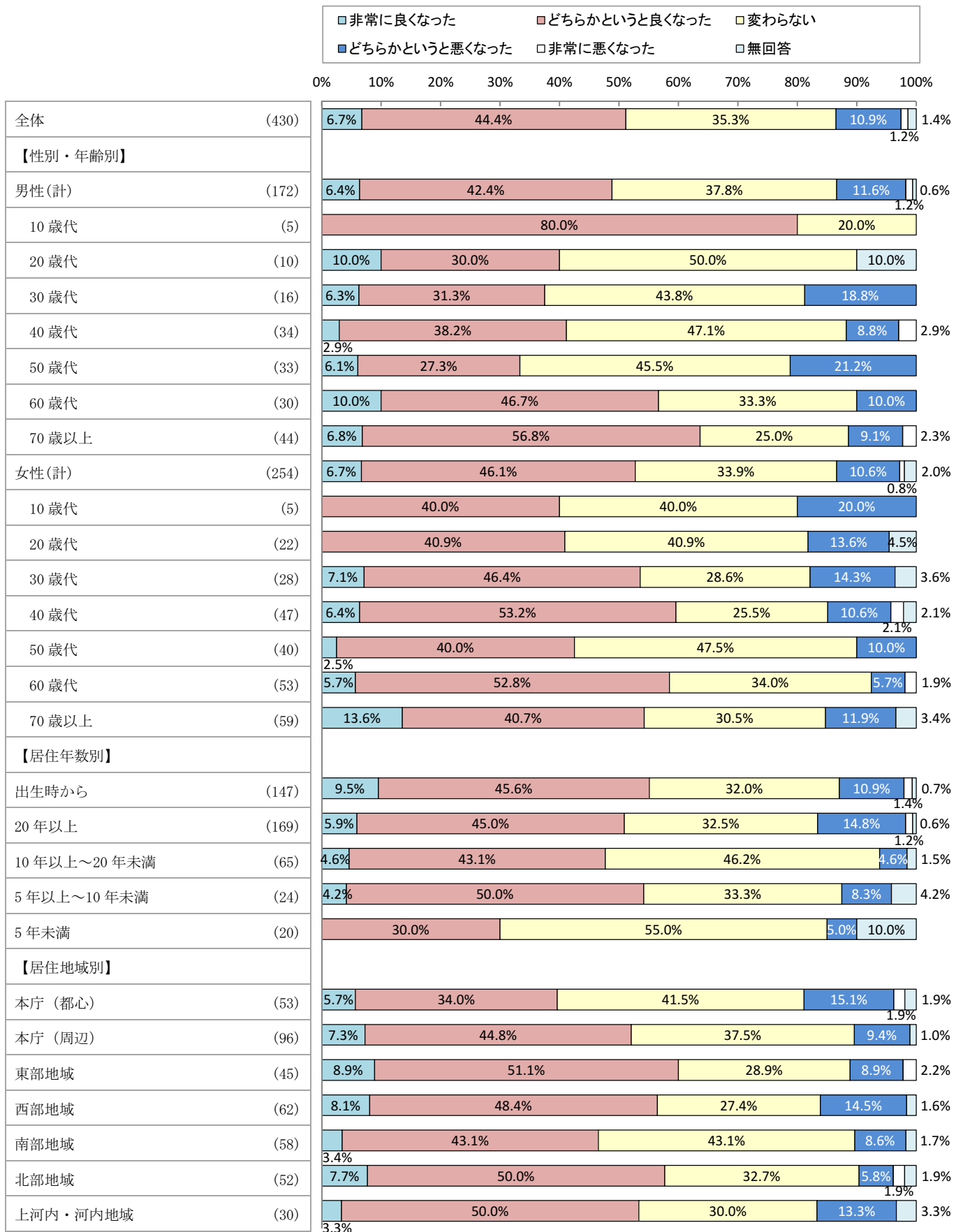
宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるかについては、「非常に良くなった」が6.7%、「どちらかというと言良くなった」が44.4%で、これらを合わせた【良くなった(計)】は51.1%であった。一方、「変わらない」は35.3%であった。(図IV-3-1)

性別・年齢別でみると、【良くなった(計)】は<男性/10歳代>が80.0%で最も高かった。一方、「どちらかというと言悪くなった」と「非常に悪くなった」を合わせた【悪くなった(計)】は<男性/50歳代>が21.2%で最も高かった。(図IV-3-2)

居住年数別でみると、【良くなった(計)】は<出生時から>が55.1%で最も高く、次いで<5年以上～10年未満>が54.2%であった。(図IV-3-2)

居住地域別でみると、【良くなった(計)】は<東部地域>が60.0%で最も高かった。(図IV-3-2)

<図IV-3-2>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別

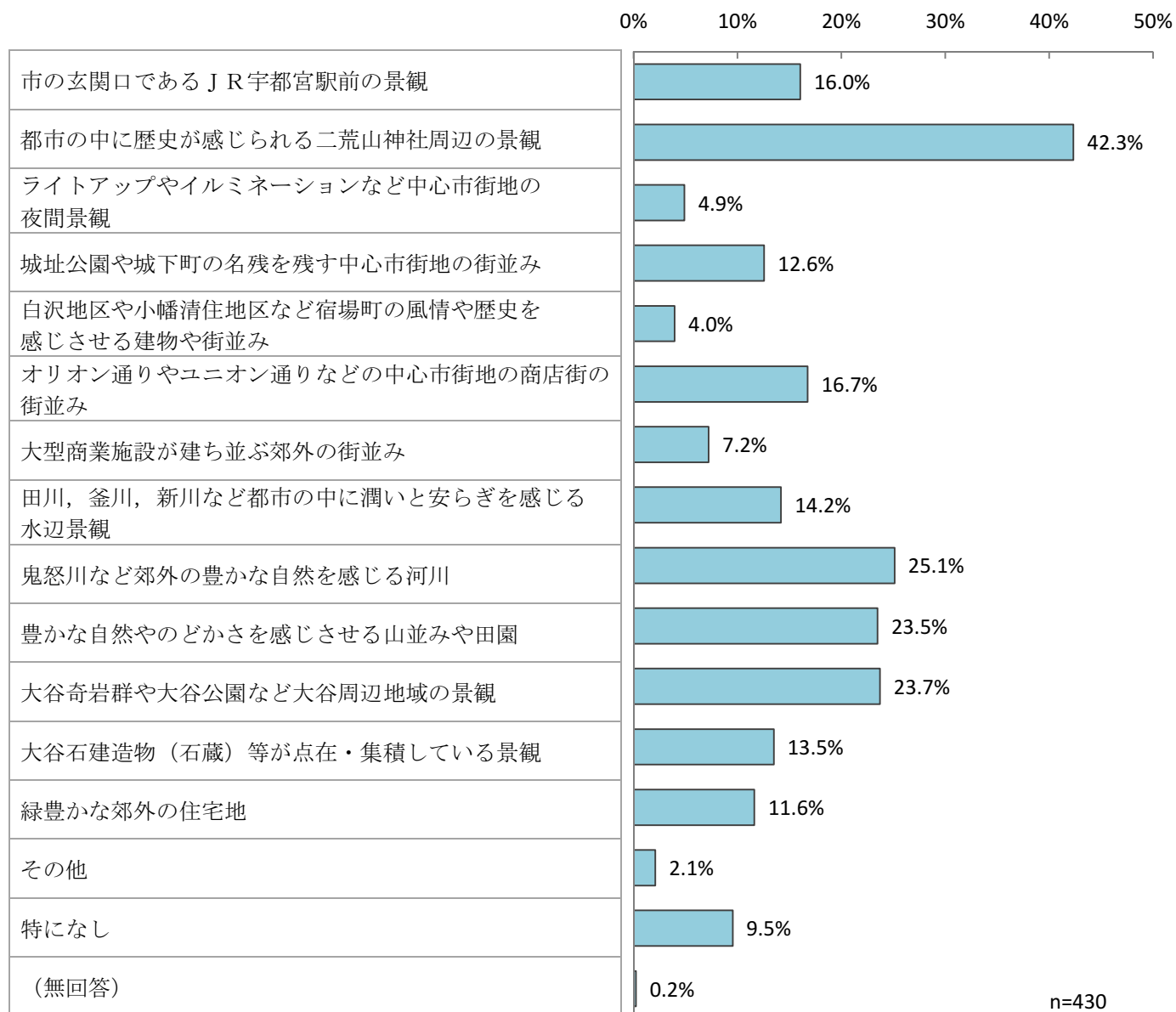


(2)「宇都宮らしい景観」とは何か

◇「都市の中に歴史が感じられる二荒山神社周辺の景観」が4割強

問16	宇都宮市内で愛着や誇りを感じる「宇都宮らしい景観」は何ですか。	(○は3つまで)
		n=430
1	市の玄関口であるJR宇都宮駅前の景観	16.0%
2	都市の中に歴史が感じられる二荒山神社周辺の景観	42.3%
3	ライトアップやイルミネーションなど中心市街地の夜間景観	4.9%
4	城址公園や城下町の名残を残す中心市街地の街並み	12.6%
5	白沢地区や小幡清住地区など宿場町の風情や歴史を感じさせる建物や街並み	4.0%
6	オリオン通りやユニオン通りなどの中心市街地の商店街の街並み	16.7%
7	大型商業施設が建ち並ぶ郊外の街並み	7.2%
8	田川, 釜川, 新川など都市の中に潤いと安らぎを感じる水辺景観	14.2%
9	鬼怒川など郊外の豊かな自然を感じる河川	25.1%
10	豊かな自然やのどかさを感じさせる山並みや田園	23.5%
11	大谷奇岩群や大谷公園など大谷周辺地域の景観	23.7%
12	大谷石建造物(石蔵)等が点在・集積している景観	13.5%
13	緑豊かな郊外の住宅地	11.6%
14	その他	2.1%
15	特になし	9.5%
	(無回答)	0.2%

<図IV-3-3>全体



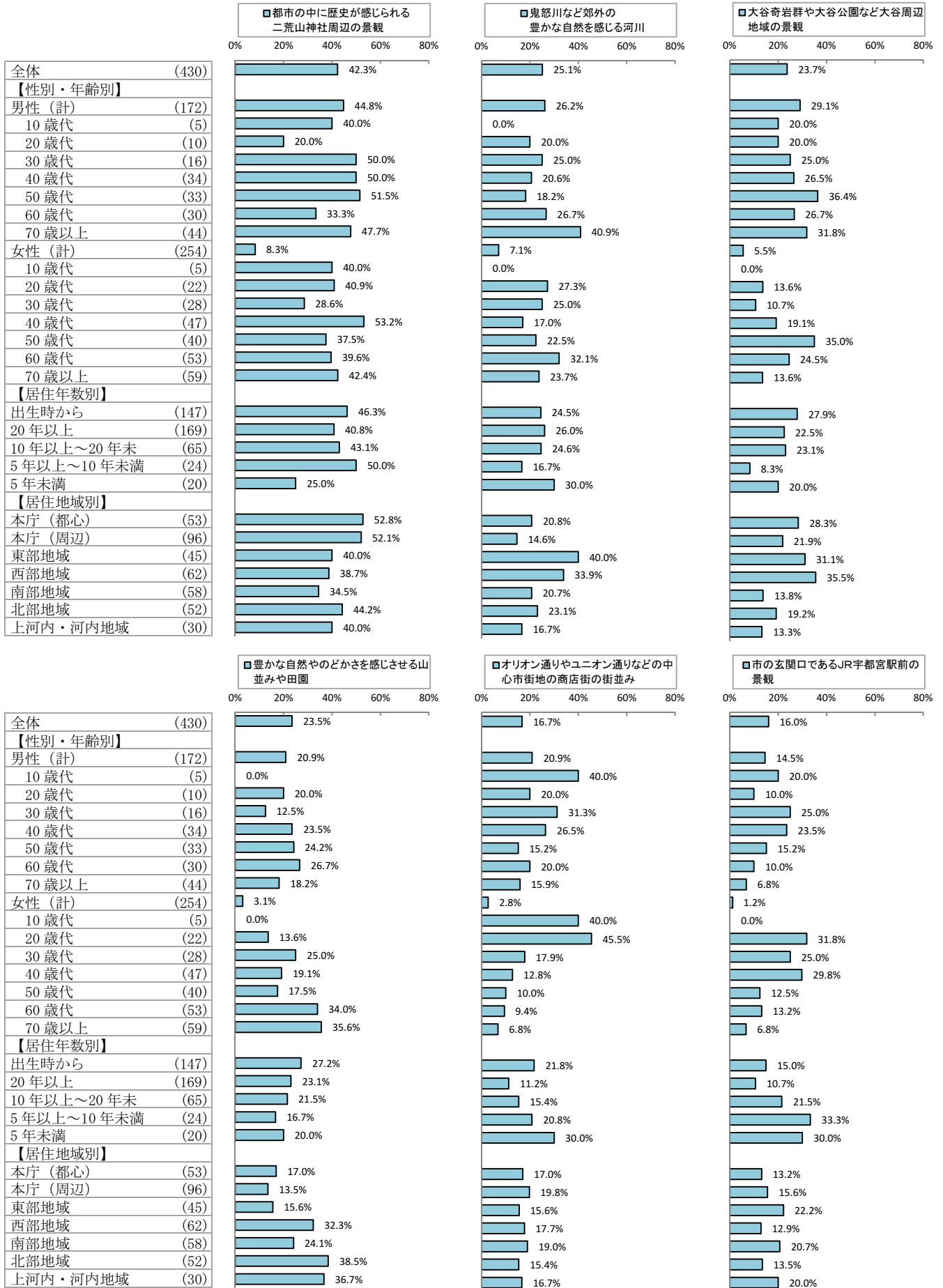
「宇都宮らしい景観」とは何かについては、「都市の中に歴史が感じられる二荒山神社周辺の景観」が42.3%で最も高く、次いで「鬼怒川など郊外の豊かな自然を感じる河川」が25.1%であった。（図IV-3-3）

性別・年齢別で見ると、「都市の中に歴史が感じられる二荒山神社周辺の景観」は<女性/40歳代>が53.2%で最も高く、次いで<男性/50歳以上>が51.5%であった。「鬼怒川など郊外の豊かな自然を感じる河川」は<男性/70歳以上>が40.9%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が32.1%であった。（図IV-3-4）

居住年数別で見ると、「都市の中に歴史が感じられる二荒山神社周辺の景観」は<5年以上～10年未満>が50.0%で最も高かった。「鬼怒川など郊外の豊かな自然を感じる河川」は<5年未満>が30.0%で最も高かった。（図IV-3-4）

居住地域別で見ると、「都市の中に歴史が感じられる二荒山神社周辺の景観」は<本庁（都心）>が52.8%で最も高かった。「鬼怒川など郊外の豊かな自然を感じる河川」は<東部地域>が40.0%で最も高かった。（図IV-3-4）

<図IV-3-4>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別（上位6項目）

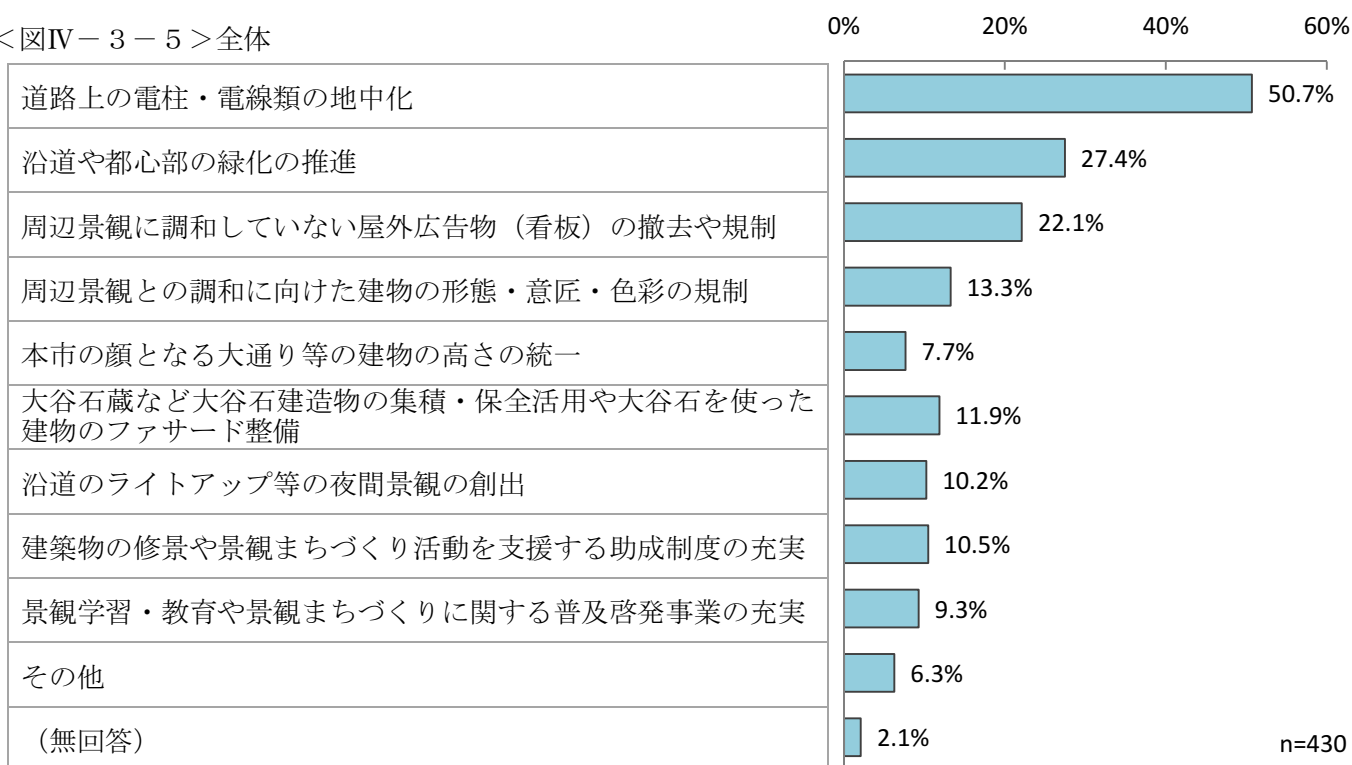


(3) 良好な都市景観の形成に必要なこと

◇ 「道路上の電柱・電線類の地中化」が約5割

問17	良好な都市景観の形成に必要なことは何だと思えますか。	(○は2つまで)	n=430
1	道路上の電柱・電線類の地中化		50.7%
2	沿道や都心部の緑化の推進		27.4%
3	周辺景観に調和していない屋外広告物(看板)の撤去や規制		22.1%
4	周辺景観との調和に向けた建物の形態・意匠・色彩の規制		13.3%
5	本市の顔となる大通り等の建物の高さの統一		7.7%
6	大谷石蔵など大谷石建造物の集積・保全活用や大谷石を使った建物のファサード整備		11.9%
7	沿道のライトアップ等の夜間景観の創出		10.2%
8	建築物の修景や景観まちづくり活動を支援する助成制度の充実		10.5%
9	景観学習・教育や景観まちづくりに関する普及啓発事業の充実		9.3%
10	その他		6.3%
	(無回答)		2.1%

<図IV-3-5>全体



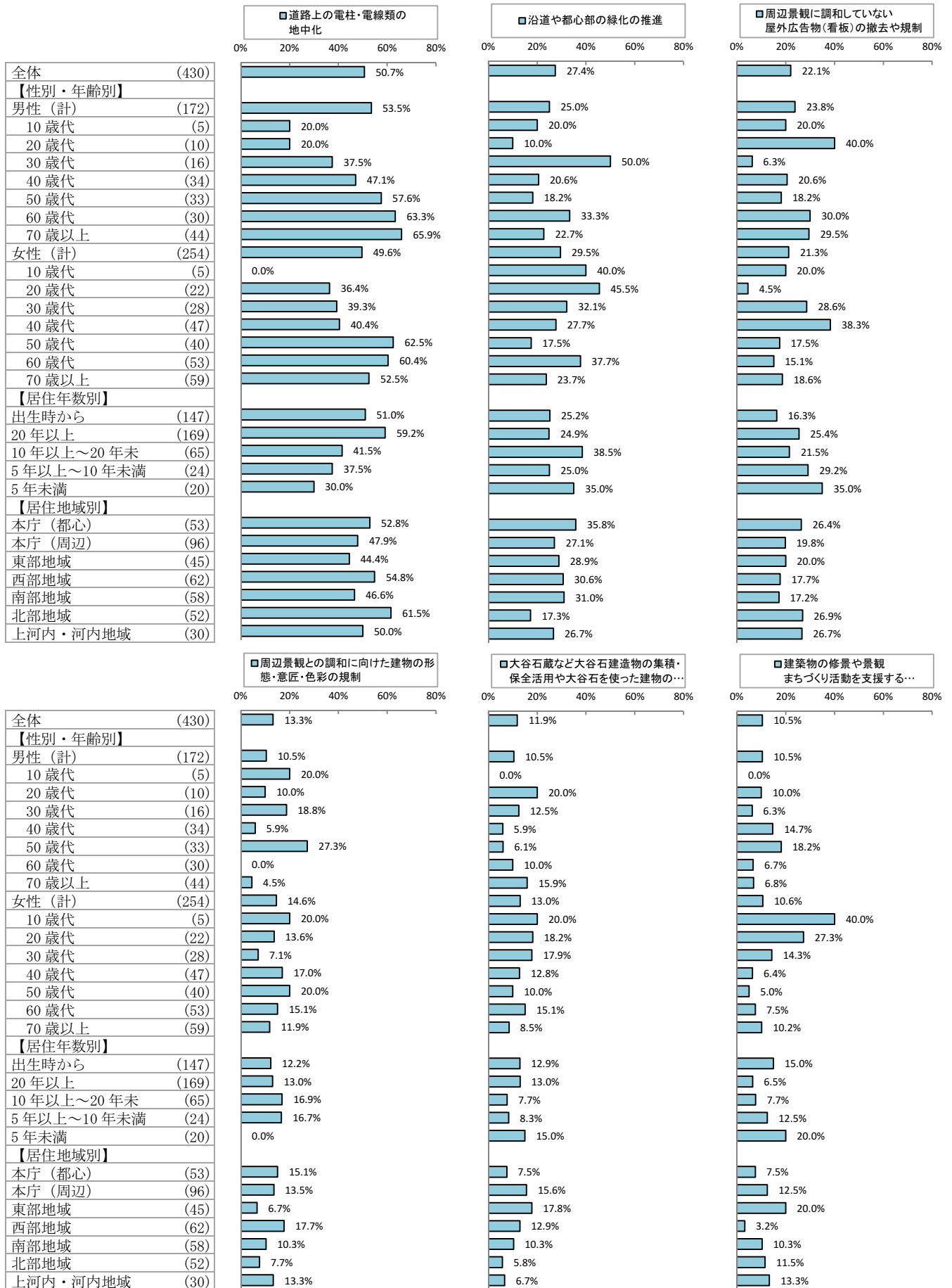
良好な都市景観の形成に必要なことについては、「道路上の電柱・電線類の地中化」が50.7%で最も高く、次いで「沿道や都心部の緑化の推進」が27.4%、「周辺景観に調和していない屋外広告物(看板)の撤去や規制」が22.1%と続いている。(図IV-3-5)

性別・年齢別でみると、「道路上の電柱・電線類の地中化」は<男性/70歳以上>が65.9%で最も高かった。「沿道や都心部の緑化の推進」は<男性/30歳代>が50.0%で最も高かった。(図IV-3-6)

居住年数別でみると、「道路上の電柱・電線類の地中化」は<20年以上>が59.2%で最も高かった。「沿道や都心部の緑化の推進」は<10年以上~20年未満>が38.5%で最も高かった。(図IV-3-6)

居住地域別でみると、「道路上の電柱・電線類の地中化」は<北部地域>が61.5%で最も高かった。「沿道や都心部の緑化の推進」は<本庁(都心)>が35.8%で最も高かった。(図IV-3-6)

<図IV-3-6>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別（上位6項目）



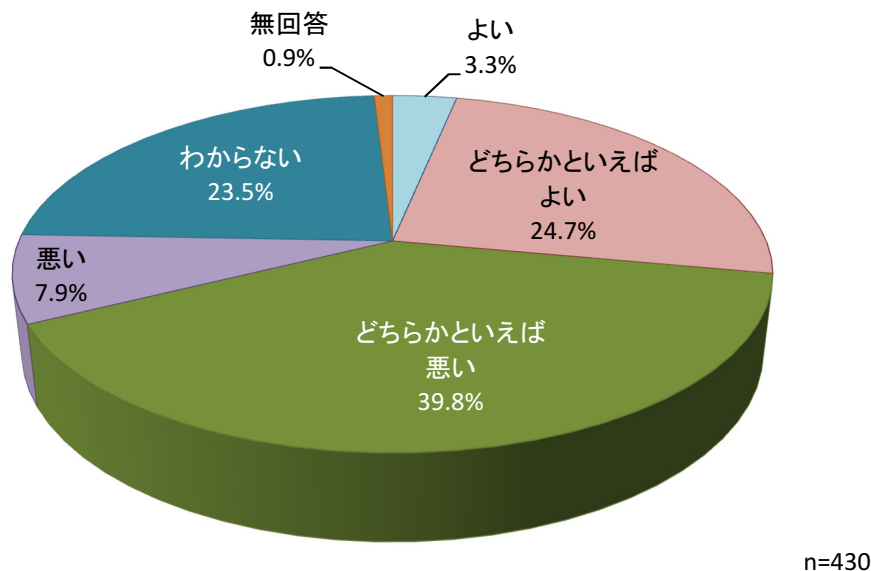
(4) 屋外広告物についての印象

◇ 「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた【悪い(計)】が5割弱

問18 景観を形成する要素の一つである屋外広告物(看板等)について、あなたは、全般的にどのような印象をお持ちですか。(○は1つ)

	n=430
1 よい	3.3%
2 どちらかといえばよい	24.7%
3 どちらかといえば悪い	39.8%
4 悪い	7.9%
5 わからない	23.5%
(無回答)	0.9%

<図IV-3-7>全体



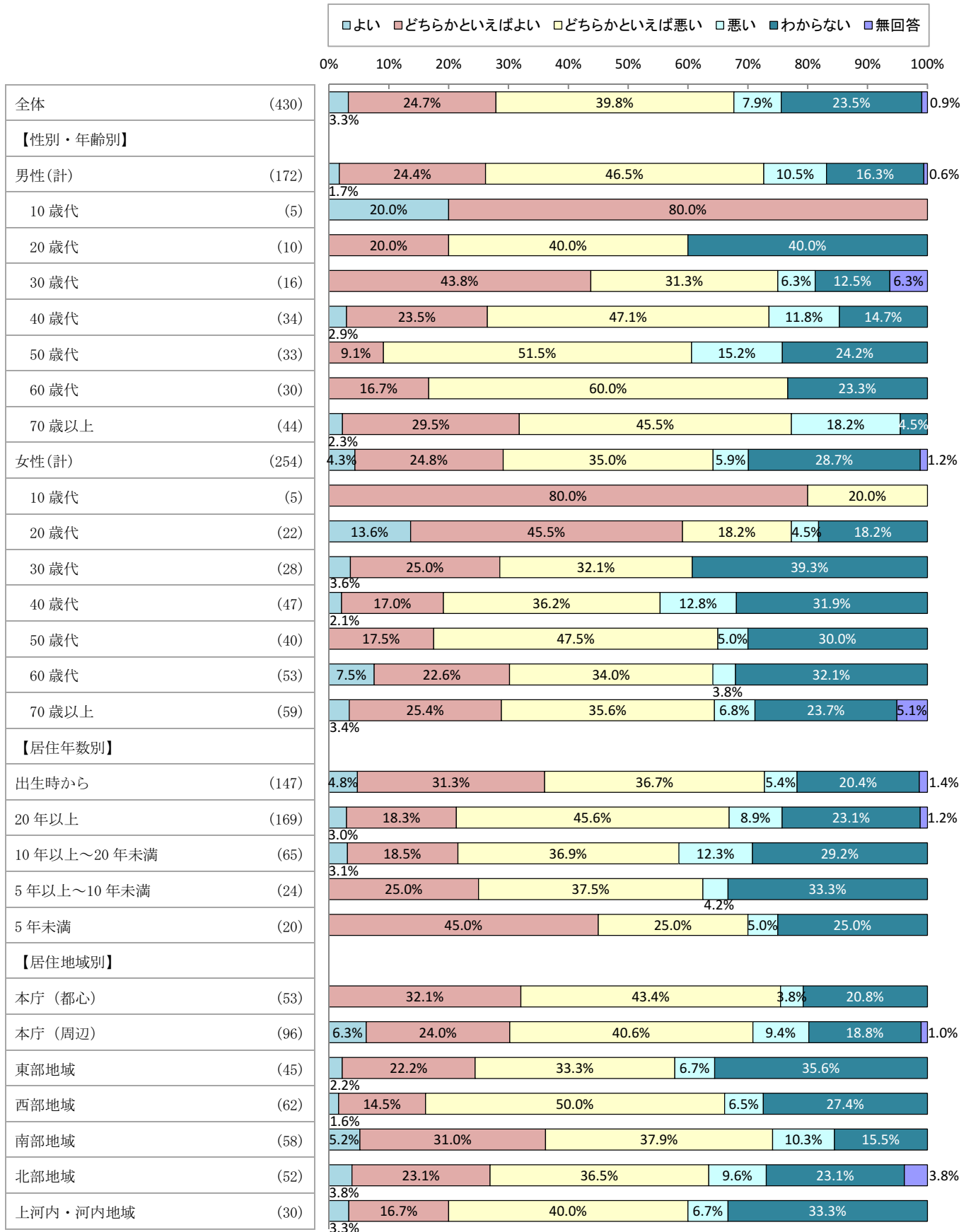
屋外広告物の全般的な印象については、「どちらかといえば悪い」が39.8%、「悪い」が7.9%で、これらを合わせた【悪い(計)】は47.7%であった。一方、「よい」は3.3%、「どちらかといえばよい」は24.7%で、これらを合わせた【よい(計)】は28.0%であった。(図IV-3-7)

性別・年齢別でみると、【悪い(計)】は<男性/50歳代>が66.7%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が63.6%であった。【よい(計)】は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/10歳以上>が80.0%であった。(図IV-3-8)

居住年数別でみると、【悪い(計)】は<20年以上>が54.5%で最も高かった。【よい(計)】は<5年未満>が45.0%で最も高かった。(図IV-3-8)

居住地域別でみると、【悪い(計)】は<西部地域>が56.5%で最も高かった。【よい(計)】は<南部地域>が36.2%で最も高かった。(図IV-3-8)

<図IV-3-8>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別

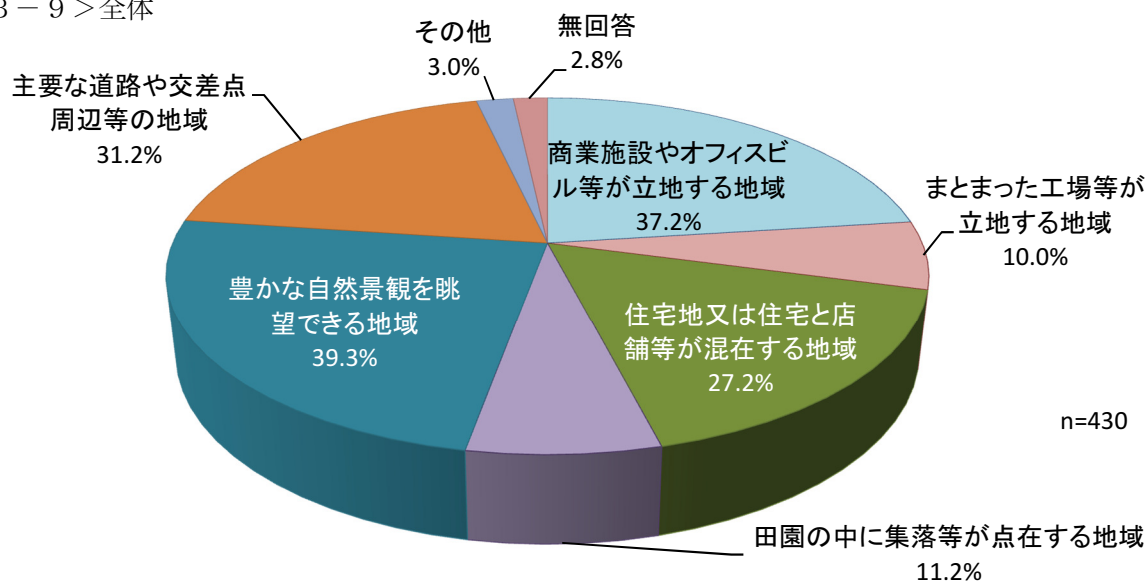


(5) よりよい景観形成のため屋外広告物の基準を強化する地域

◇ 「豊かな自然景観を眺望できる地域」が約4割

問19	屋外広告物（看板等）は、表示面積（大きさ）や高さ、色彩などの基準が地域ごとに条例で定められています。今後、よりよい景観形成のためそれらの基準を強化するとしたら、どの地域がよいか、あなたの意見に一番近いものはどれですか。	(〇は2つまで)
		n=430
1	商業施設やオフィスビル等が立地する地域	37.2%
2	まとまった工場等が立地する地域	10.0%
3	住宅地又は住宅と店舗等が混在する地域	27.2%
4	田園の中に集落等が点在する地域	11.2%
5	豊かな自然景観を眺望できる地域	39.3%
6	主要な道路や交差点周辺等の地域	31.2%
7	その他	3.0%
	(無回答)	2.8%

<図IV-3-9>全体



よりよい景観形成のため屋外広告物の基準を強化する地域については、「豊かな自然景観を眺望できる地域」が39.3%で最も高く、次いで「商業施設やオフィスビル等が立地する地域」が37.2%、「主要な道路や交差点周辺等の地域」が31.2%と続いている。(図IV-3-9)

性別・年齢別でみると、「豊かな自然景観を眺望できる地域」は<男性/10歳代>が80.0%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が53.6%であった。「商業施設やオフィスビル等が立地する地域」は<女性/20歳代>が54.5%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が52.9%であった。(図IV-3-10)

居住年数別でみると、「豊かな自然景観を眺望できる地域」は<5年以上~10年未満>が50.0%で最も高かった。「商業施設やオフィスビル等が立地する地域」は<5年未満>が50.0%で最も高かった。(図IV-3-10)

居住地域別でみると、「豊かな自然景観を眺望できる地域」は<北部地域>が53.8%で最も高かった。「商業施設やオフィスビル等が立地する地域」は<本庁(都心)>が58.5%で最も高かった。(図IV-3-10)

<図IV-3-10>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別

